

# 10月のどきどき

## 新米食べて健康に

10月1日、JAとまこまい広域から広域管内で生産された「たんとうまい（ななつばし）」60kgが寄贈されました。パンや麺類の消費の高まりに反し、お米の消費量が低迷しているそうですが、お米は私たちのエネルギー源です。寄贈されたお米は、給食として子ども達に提供されることになっています。



## 自立と共生と培う幼児教育の現場

10月3日、追分幼稚園と追分公民館を会場に胆振公立幼稚園教育研究大会安平大会が開催され、胆振管内の幼児教育関係者約40名が参加。公開保育では、園児が作成した遊び道具を活用して、園児の活動と教諭の関わり方や支援の仕方を観察した後、追分公民館に移動し、意見交換会が行われました。



## 成年後見制度

### について考える

10月4日、追分公民館で地域ネットワーク会議が行われました。

町民の誰もが住みなれた地域や家庭で安心した生活ができるように、保健・医療・福祉サービスの総合的なシステム作りを進めるため、各分野の関係機関の連携や自治会・町内会・近隣住民等からなる援護のネットワークづくりを図ることを目的に実施。

「成年後見制度」に関する基調講演やビデオ上映などが行われ、メモを取りながら話に耳を傾ける姿がありました。



早来中学校吹奏楽部第25回定期演奏会（10月6日）

3年生には最後演奏。卒業生とのコラボもあり、約100名の観客を魅了しました。同吹奏楽部は日胆地区吹奏楽コンクールで銀賞を受賞。



ケアハウスサックルで敬老会（10月13日）

入所者の長寿を祝い、敬老会が盛大に開催されました。ケアハウスサックル入所者の最年長は次のお二人です。  
男性 飯坂清美さん（96歳）  
女性 小泉愛子さん（95歳）



早来ライオンズクラブと早来小学校低学年が桜を植樹（10月10日）

昨年のツツジ・シヤクナゲに続き、早来小学校グラウンドで植樹活動が行われました。来春には薄ピンクの桜が開花します。



平成25年度高齢者芸能発表会（10月18日）

38組83名の名手が自慢の歌や舞踊を披露。最後に観客を含めて238名でお楽しみ抽選会で盛り上がったそうです。